

とちぎ夢大地応援団活動報告（平成28年5月7日実施）

佐野市 多田地区「耕作放棄地の刈り払い」

佐野市多田地区の柴田保全会（毛利昭一郎会長）のとちぎ夢大地応援団活動が5月7日、応援団員26名、地元柴田保全会員10名の合計36名が参加して、耕作放棄地等の草刈りを行いました。

旧田沼町の国道293号線沿いにある同地区は、4年前から地区内の耕作放棄地の解消に取り組み始め、灌木や雑草が生い茂る約4haの放棄地の農地への再生を図ってきました。応援団員は春と秋の年2回、同地区の草刈り等作業を支援しており、今回もため池周りや耕作放棄地など約3haの草刈りに汗を流しました。

昼食のあとの交流会では、毛利会長が「応援団の支援を受け荒れ地がきれいになって、地元の意識が変わった。みんなでこの再生農地をどう利用していくか検討している。どんな利用法があるか、皆さんの知恵を貸してほしい」と話すと、参加した応援団員から「ショウブやアヤメなどを植えてみては」とか「藍染用のアイの栽培はどうか」などの意見が出されていました。



今回から応援団員は緑色のビブスを着用することにしました



参加者への感謝の言葉を述べる毛利会長





ため池周りの草刈り作業





午前中の作業で約 3ha の草が刈り払われました



昼食会場では応援団員と地元の人との交流会が開かれ、貴重な意見の交換が行われました